

AI路面判定システムを 活用した雪国の自治体の 雪害事前防災対策の実証

「雪害事前防災のためのAI路面判定システムの実証事業」キックオフミーティング



近年、日本の国土の50.8%を占める豪雪地帯において、短時間で集中的に雪が降る「集中豪雪」や、水分を含んだ「湿雪」に起因する災害が目立ちます。これに伴う道路除排雪の遅れは、深刻な交通障害だけでなく、災害時（地震や津波等）の避難や緊急輸送を阻害する防災上の大きなリスクとなります。

これまで防災科研では、札幌市、青森県、新潟市との共同研究を通じ、AI路面判定システムによる冬季の自治体の除排雪や防災の課題に取り組んできました。今年度は、内閣府の事前防災対策総合推進費「雪害事前防災のためのAI路面判定システムの実証事業」の採択を受け、これらの取り組みを加速させ、雪氷環境の異なる地域での社会実装に向けた課題等に取り組むことにより、雪害事前防災対策の実証を進めます。

本研究会は、雪害事前防災のためのAI路面判定システムの実証事業のキックオフミーティングと位置づけ、これまでの取り組みの報告と共に、実証事業への期待について議論します。



2026.8.24 月 13:30-15:30



ハイブリッド
開催

参加
無料

第1部

13:30~14:45

講演（発表順・講演タイトルは変更となる場合があります。）

- 趣旨説明
中村 一樹 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター センター長
- 雪害事前防災のためのAI路面判定システムの実証事業 概要説明
山口 悟 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター 上席研究員
- 札幌市における雪害対策の課題とAI路面判定への期待
中澤 辰哉 札幌市危機管理局危機管理部危機管理課防災計画担当 係長
- 青森ゆきみちDX～青森モデルの構築を目指した進化と深化～
鈴木 英宗 青森県県土整備部 次長
- AI路面判定システムを活用した新潟市の取り組みについて
布川 亮 新潟市土木部土木総務課維持管理班 主査

第2部

14:50-15:30

パネルディスカッション&意見交換

- モデレーター
中村 一樹
- パネリスト
山口 悟、中澤 辰哉、鈴木 英宗、布川 亮



研究会終了後、登壇者との意見交換、
交流の時間を設けております。

登壇者



中村 一樹



山口 悟



中澤 辰哉



鈴木 英宗



布川 亮



会場 防災科学技術研究所 東京会議室
東京都港区西新橋 2-3-1 マークライト虎ノ門 6F



お問合せ 防災科学技術研究所 災害レジリエンス共創研究会事務局
メールアドレス：info-kyosokenkyu@bosai.go.jp

申込方法

右側の二次元コードの申し込みフォームより
お申し込みください。

申込締切

令和8年8月19日（水） 正午

